

令和7年度

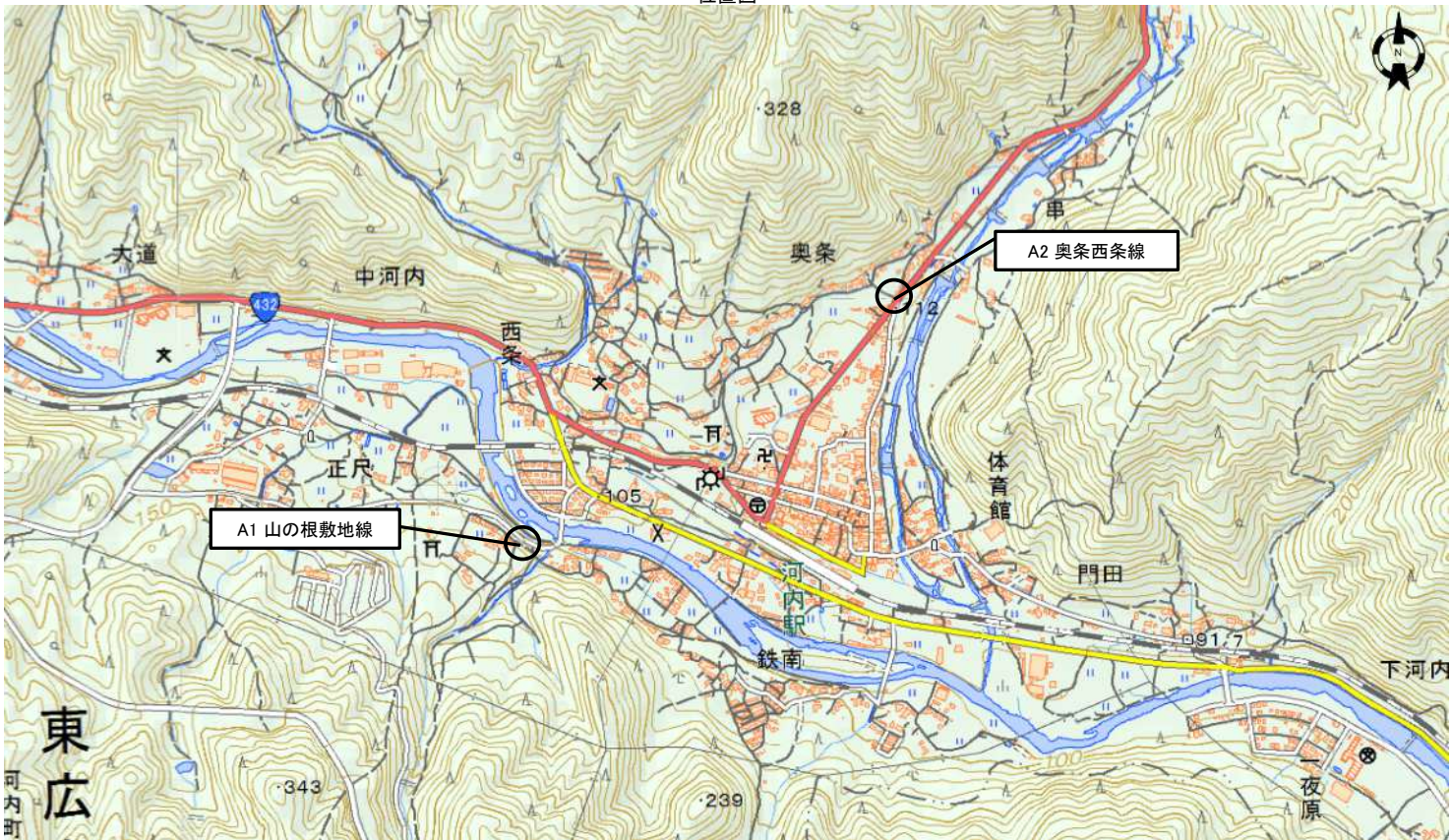
道路維持修繕事業

山の根敷地線ほか道路修繕工事

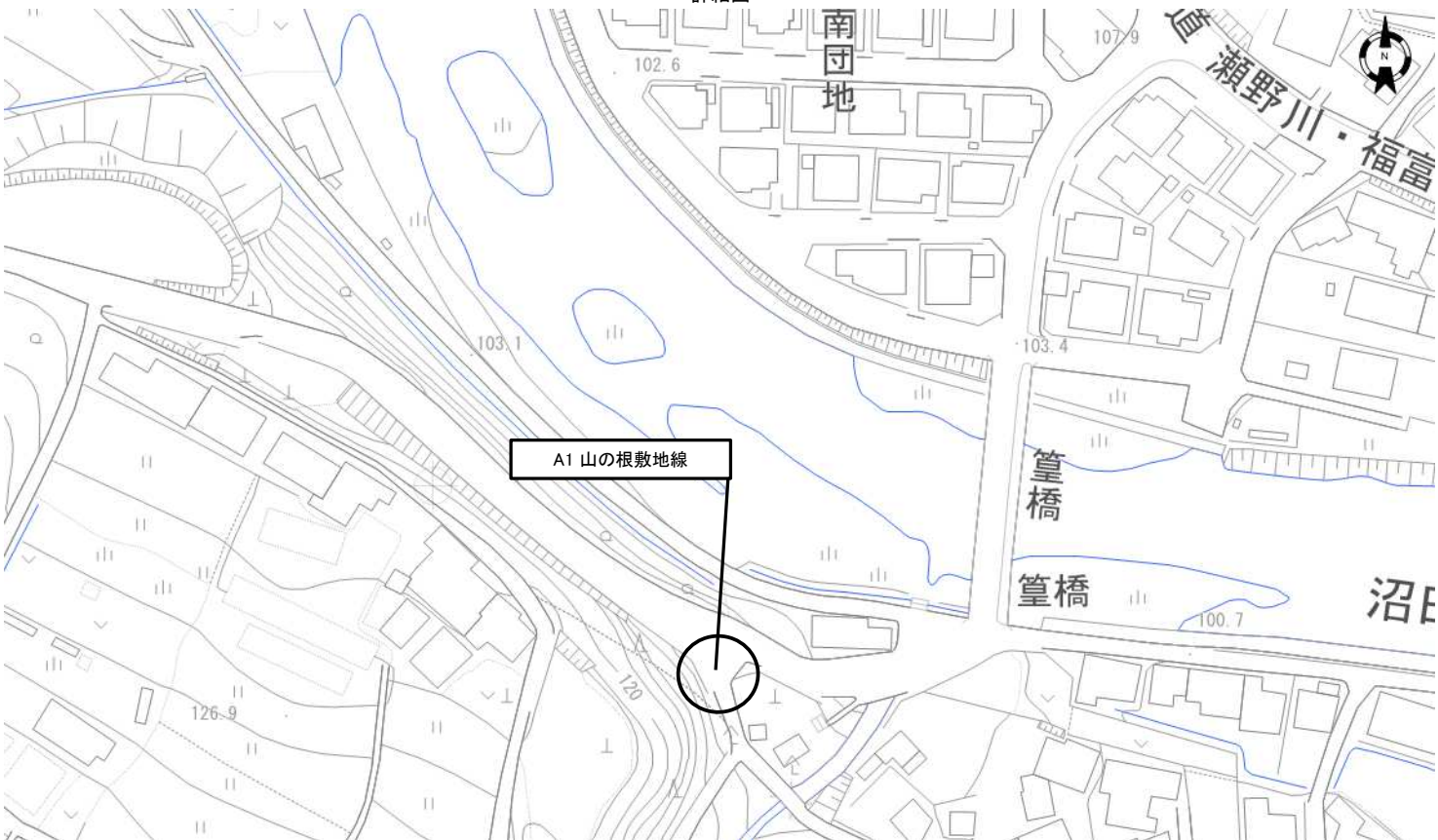
仕様書

施 工 場 所 東広島市河内町中河内

位置図



詳細図



詳細図



特 記 仕 様 書

(山の根敷地線ほか道路修繕工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休2日適用工事等 週休2日
12. 建設副産物の取り扱いについて
13. 猛暑時間の施工回避
14. 猛暑日等を考慮した工期延長について
15. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等
3. 溶融スラグを利用した資材の使用

第3章 施工条件

1. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
 - (2) 架空線の防護管に要する費用について
2. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)）
 - (2) コンクリート殻(無筋)(搬出)
 - (3) アスファルト殻(搬出)

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。
この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日（東広島市の休日を定める条例（平成元年東広島市条例第6号）第1条第1項に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版」第1編1-1-1-23第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

本工事は、小規模工事等であるため所定の様式での提出を省略し、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版」第1編1-1-1-23第2項第3号に記載の資料を監督職員に提出することにより、履行報告とする。なお、工期延長等が必要となった場合は、報告方法について監督職員と協議するものとする。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面（写し）を提出するものとし、更新手続き（許可内容が同じもの）の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。
- (2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyoushoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要

領」に基づくこと。

- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
 - 1) 補正方法
ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とす

るものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11. 週休2日適用工事等 週休2日

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規

定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

13. 猛暑時間の施工回避

- 1 本工事は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を発注者と協議し設定できる工事である。

- 2 実施方法は次のとおりとする。

(1) 内容

ア 受注者は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を監督職員と協議し設定できる。

イ 作業時間を短縮した場合は、短縮時間に応じて、工期を延長することができるものとする。

ウ 工事における現地の立会等については、監督職員の勤務時間に合わせるものとする。

エ 対象期間は、6月1日から9月30日までとする。

(2) 工期延長日数の算出方法

工期の延長日数^{※1}(日)＝短縮時間(時間)×対象期間^{※2}(日)÷8(時間)

なお、猛暑日等による作業不能日とは、別に考慮できるものとする。

※1 小数第1位を切り上げるものとする。

※2 現場閉所日を含む。

3 作業時間の変更に伴う工事費の増額については、設計変更の対象としない。

14. 猛暑日等を考慮した工期延長について

1 本工事は、工期に「猛暑日等による作業不能日」として、休日(土日、祝日、年末年始休暇及び夏期休暇)、降雨降雪日及び猛暑日日数を26日見込んでいる。

「猛暑日等による作業不能日」＝施工に必要な実日数×雨休率

雨休率(休日、降雨降雪日及び猛暑日日数による作業不能日を見込むための係数)： 0.78

雨休率に見込んでいる作業不能日は、次のとおりである。(過去5年間の気象庁及び環境省のデータより年間の平均発生日数を算出)

(1) 1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日： 31日/年

(2) 8時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数： 5日/年

2 ・著しい悪天候や気象状況より「猛暑日等による作業不能日」が当初見込んでいる日数と著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は監督職員へ工期の延長変更を協議することができる。

・受注者は、協議の際に気象庁及び環境省の計測データ等を監督職員へ提出すること。計測データは、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所及び環境省が公表している観測地点を用いることを標準とする。

なお、提出する必要のある様式「猛暑日等による作業不能日算出表」は「広島県の調達情報HP>公共工事等の情報_様式集>建設工事関係_その他契約関係様式」に掲載している。

・費用は、工期延長日数に応じて「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算」(土木工事標準積算基準書(共通編)第I編総則 第9章)に基づき増加費用を積算し、変更契約において計上する。

15. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

1 猛暑による厳しい環境下での現場作業[※]が見込まれる工事を対象とする。

※WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で、連続1時間以上又は1日4時間を超える作業

2 受注者は、熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に、迅速かつ的確な判断ができるよう、「緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先や所在地」及び「作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等の熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順」などを施工計画書の「緊急時の体制及び対応」項目に記載するとともに、工事関係者へ周知すること。

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

3. 溶融スラグを利用した資材の使用

1. 溶融スラグを利用した資材の使用

再生加熱アスファルト混合物、プレキャストコンクリート製品、再生路盤材及び埋戻材等については、広島中央環境衛生組合が製造する溶融スラグ（以下「溶融スラグ」という。）を利用した資材を使用するよう努めるものとする。溶融スラグ利用及び使用する資材にあたっては「溶融スラグの有効利用促進等に関する方針」「溶融スラグ有効利用ガイドライン【品質編】、【運用編】」に準拠するものとする。なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議すること。

2. 品質管理及び確認

1. で示したもののほか、溶融スラグを利用した資材の使用における品質の管理及び確認は、広島版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」及び広島版「施工管理基準(令和7年8月)」によるものとする。ただし、書類により品質が確保できる項目においても、監督職員が必要と認めるものは現場検収を実施できるものとする。

3. 再生加熱アスファルト混合物への使用

溶融スラグを再生加熱アスファルト混合物に使用する場合、広島版「土木工事共通仕様書（令和7年8月）」の「1-1-2-16 環境対策」に示す登録リサイクル製品の使用は適用しないものとする。

4. 適合規格

溶融スラグの適合規格については、広島版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」に記載の適合規格（「2-2-3-1 一般事項 1.」）ではなく、「JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材」を適用するものとする。

第3章 施工条件

1. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から12日間（2人／日）を見込んでいく。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

2. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいく。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいく再資源化施設、運搬距離
奥条西条線

（名称）	株式会社大地リサイクルセンター第9残土処分場
（所在地）	東広島市河内町入野字大内原987-1
（運搬距離）	7.0 km

(2) コンクリート殻（無筋）（搬出）

当該工事により発生するコンクリート殻（無筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいく。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。

また、運搬距離は 山の根敷地線は、16.4 k m、奥条西条線は、17.5 k m を見込んでいる。

(3) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 山の根敷地線は、16.4 k m、奥条西条線は、19.5 k m を見込んでいる。

第4章 その他

1. 工事関係書類

(1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。

(2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準（令和7年8月）」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
道路改良（A1 山の根敷地線）		式		1	レベル1
道路土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	土砂 標準以外	m3		4	レベル4
路床盛土工		式		1	レベル3
路床盛土	流用土	m3		6	レベル4
路床盛土	購入土	m3		1	レベル4
擁壁工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘り	土砂	式		1	レベル4
埋戻し	土砂	式		1	レベル4
嵩上げコンクリート		式		1	レベル3
コンクリート		m3		1	レベル4
型枠		式		1	レベル4
基礎碎石		m2		0.3	レベル4
排水構造物工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
床掘り	土砂	式		1	レベル4
埋戻し	土砂	式		1	レベル4
側溝工		式		1	レベル3
横断溝	B300-H300	m		12	レベル4
横断溝用グレーチング	300 L=1000 普通目	枚		11	レベル4
横断溝用グレーチング	300 L=500 普通目	枚		3	レベル4
集水桝工		式		1	レベル3
1号集水桝	現場打 B600-L600-H600	箇所		1	レベル4
2号集水桝	現場打 B600-L600-H600	箇所		1	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	機械施工	m3		3	レベル4
舗装版切断	アスファルト舗装版	式		1	レベル4
舗装版破碎	アスファルト舗装版	m2		111	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	アス殻	m3		4	レベル4
殻運搬	コン殻（無筋）	m3		3	レベル4
殻処分	アス塊	t		10	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
殻処分	コン塊（無筋）	t		8	レベル4
舗装工		式		1	レベル2
アスファルト舗装工		式		1	レベル3
表層	再生密粒度アスファルト t =4cm	m2		110	レベル4
路盤	再生粒度調整碎石 t =10cm	m2		110	レベル4
薄層カラー舗装		式		1	レベル3
薄層カラー舗装	RPN-301 カラートップ	m2		49	レベル4
区画線工		式		1	レベル2
区画線工		式		1	レベル3
区画線設置（溶融式）	外側線 15cm	m		28	レベル4
区画線設置（溶融式）	破線 30cm	m		11	レベル4
交差点指示		式		1	レベル3
区画線設置（溶融式）	T字 30cm	m		2	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		18	レベル4
道路改良（A2 奥条西条線）		式		1	レベル1
道路土工		式		1	レベル2

工事数量総括表

頁0 -0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
残土処理工		式		1	レベル3
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		1	レベル4
残土等処分		m3		1	レベル4
排水構造物工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘り	礫質土	式		1	レベル4
埋戻し	礫質土	式		1	レベル4
側溝工		式		1	レベル3
水路工	現場打 B300-H300	m		4.5	レベル4
側溝蓋	グレーチング蓋（300用）	枚		5	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	コンクリート（無筋）	m3		1	レベル4
舗装版切断	アスファルト舗装版	式		1	レベル4
舗装版破碎	アスファルト舗装版	m2		25	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	コン殻（無筋）	m3		1	レベル4
殻運搬	アス殻	m3		1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0005

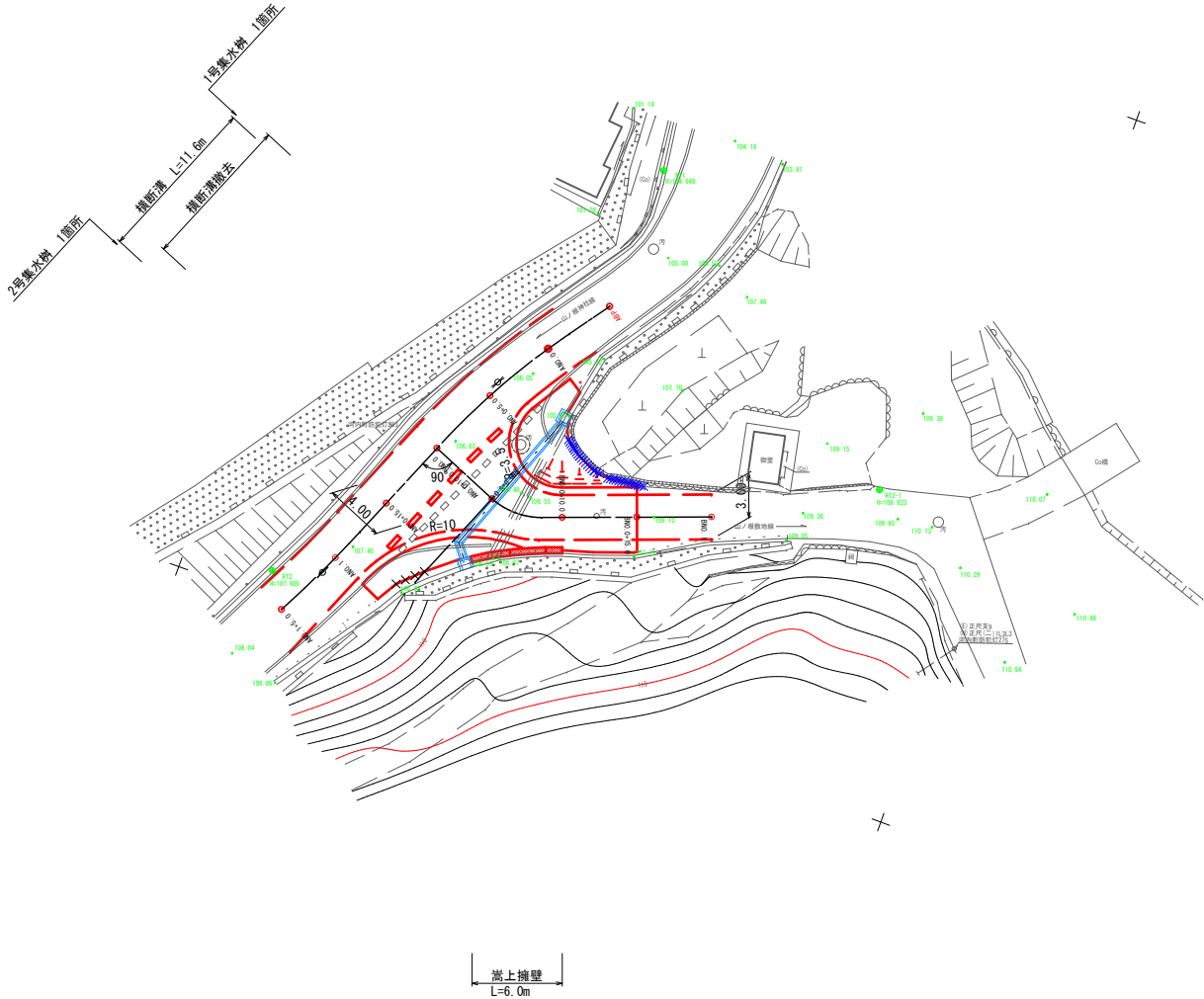
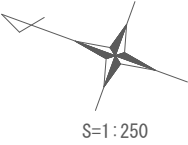
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
殻処分	コン塊（無筋）	t		3	レベル4
殻処分	アス塊	t		3	レベル4
舗装工		式		1	レベル2
舗装工		式		1	レベル3
上層路盤工	再生粒度調整碎石RM-30 t = 10cm	m2		5	レベル4
表層工	再生密粒度アスコン13 t = 4cm	m2		25	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		6	レベル4
* * 直接工事費 * *					
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					

工事数量総括表

頁0 -0006

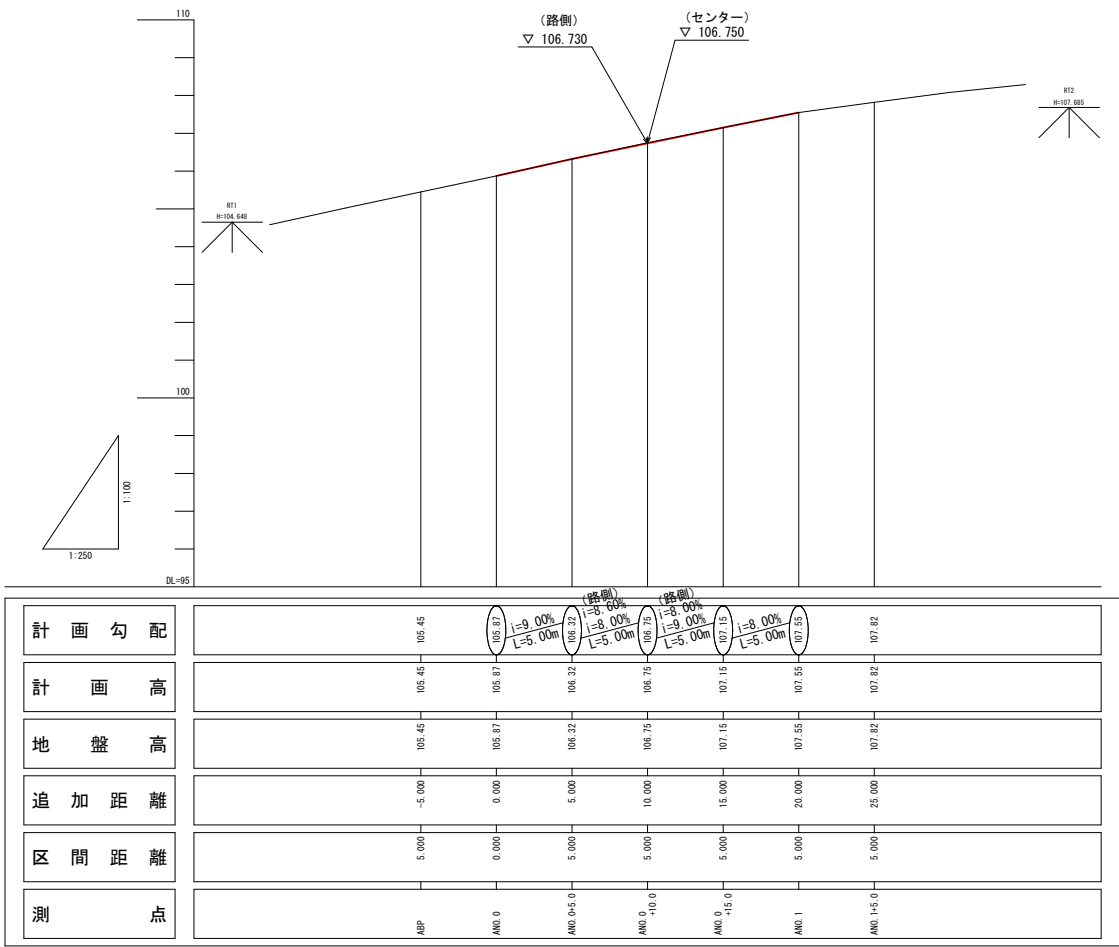
[illegible]

基準点座標一覧表			
点 名	X 座 標	Y 座 標	標 高
RT1	-169521.443	65836.011	104.648
RT2	-169505.982	65801.884	107.685
RT2-1	-169542.325	65820.869	109.823

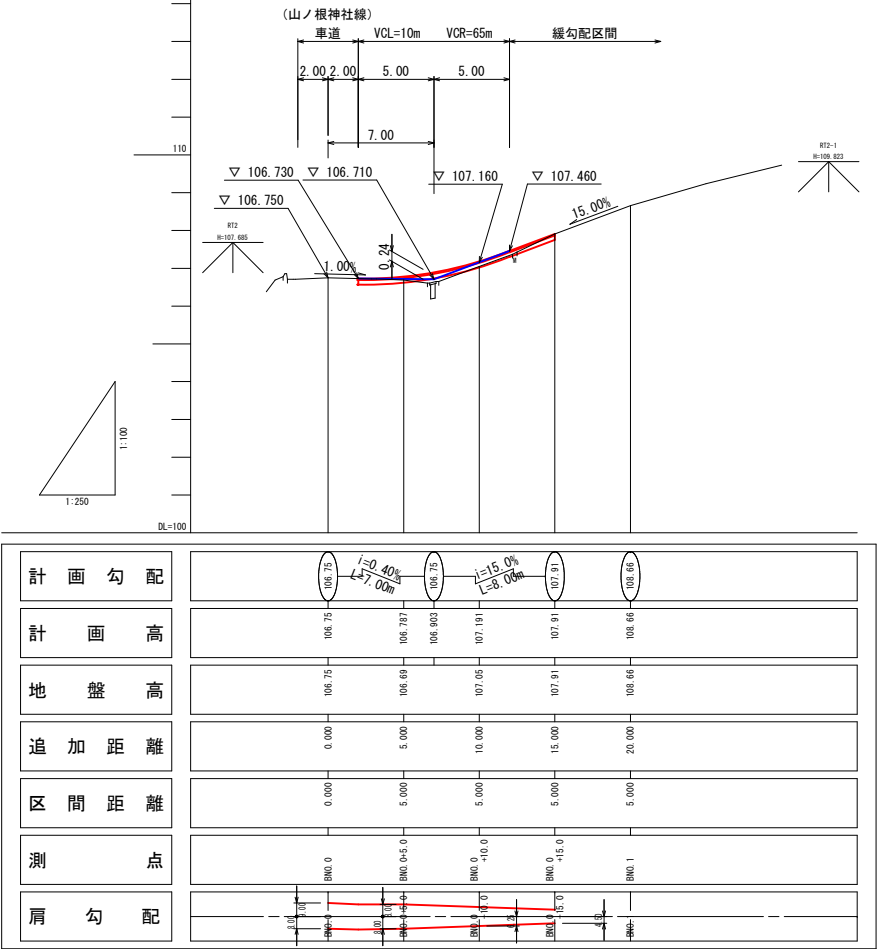


工事名	道路維持修繕事業 山ノ根敷地線ほか道路修繕工事		
図面名	平 面 図		
路線名	山の根敷地線		
縮尺	S=1:250	図面番号	1 / 6
工事場所	東広島市河内町中河内		
事業者名	東 広 島 市		

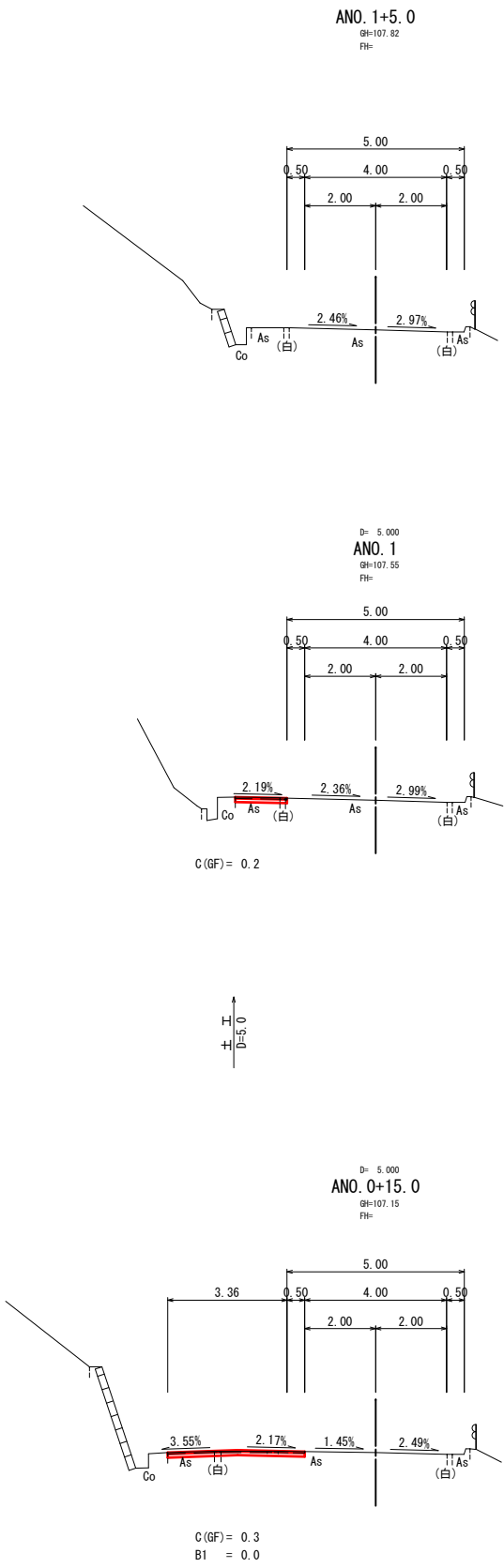
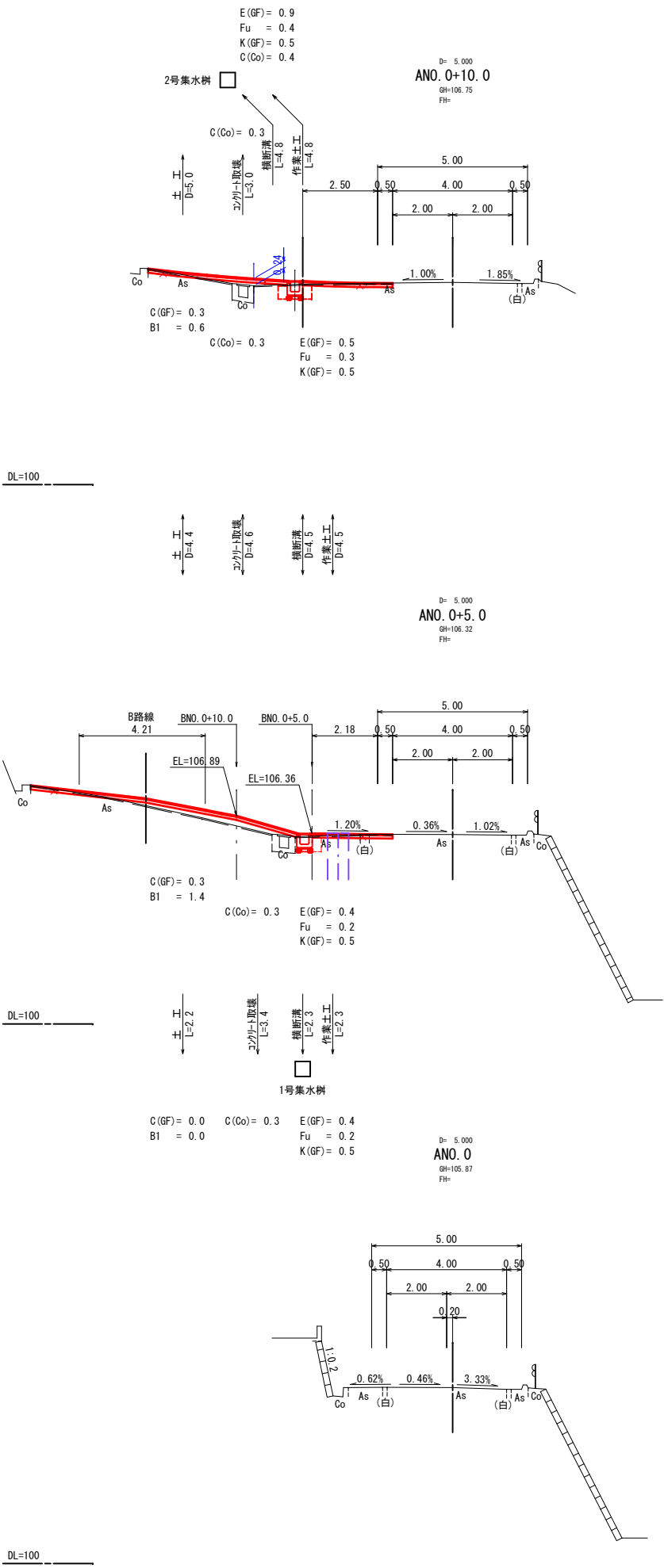
A断面



B断面

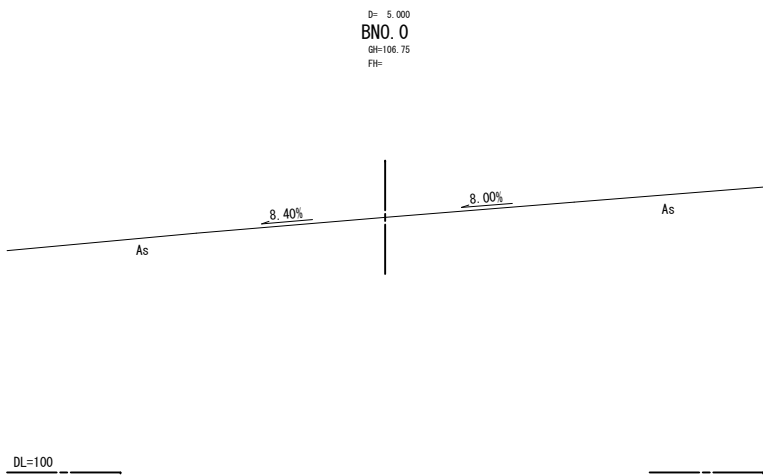
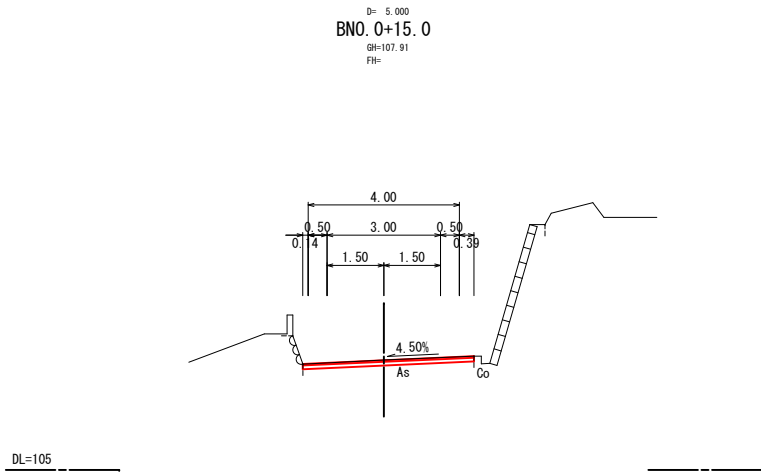
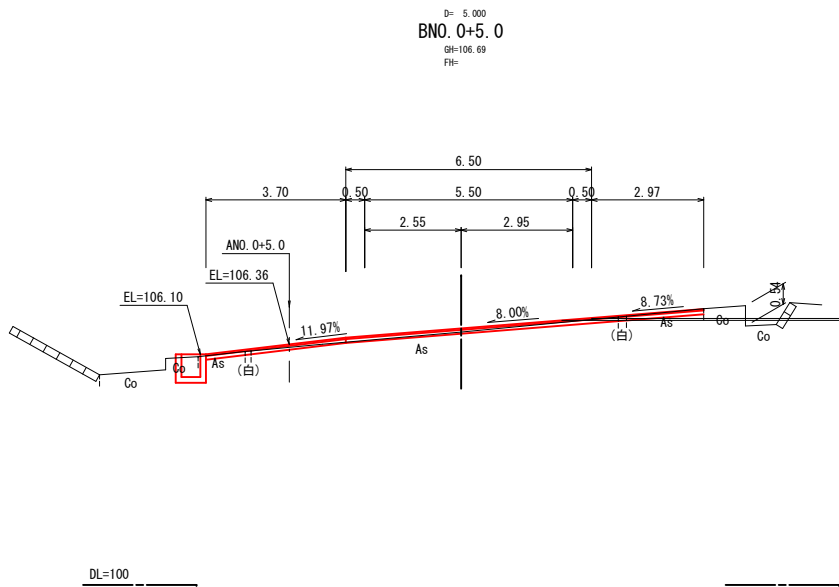
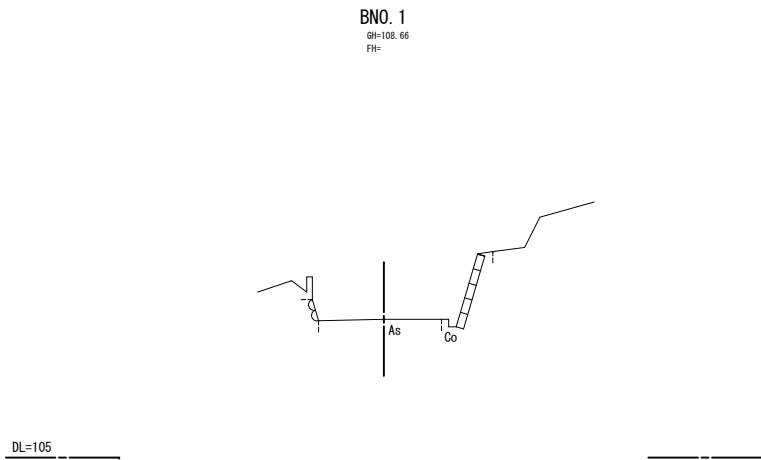
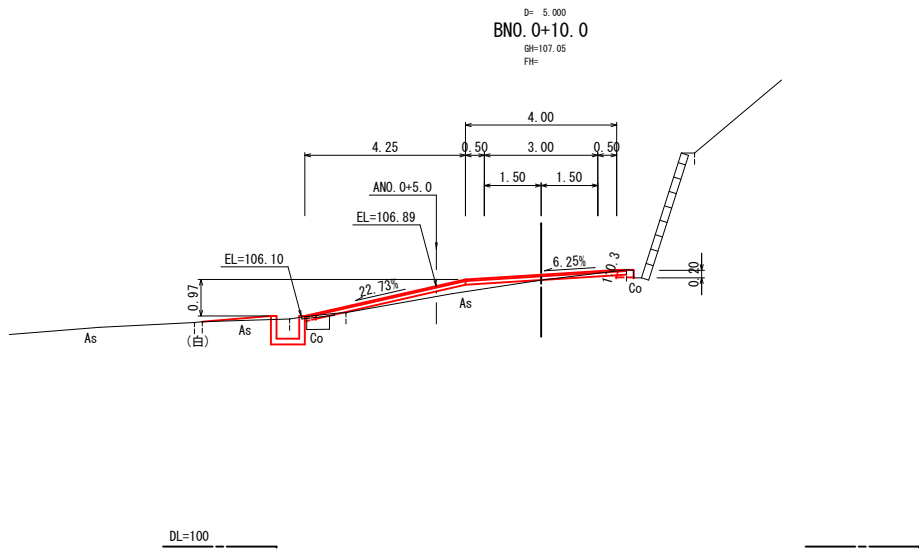


横断図 S=1:100



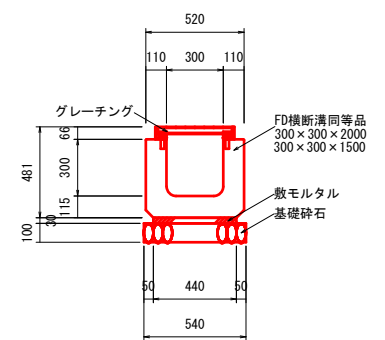
工事名	道路維持修繕事業 山の根敷地線ほか道路修繕工事		
図面名	横断図		
路線名	山の根敷地線		
縮尺	S=1:100	図面番号	3 / 6
工事場所	東広島市河内町中河内		
事業者名	東広島市		

横断図 S=1:100



工事名	道路維持修繕事業 山の根敷地線ほか道路修繕工事		
図面名	横断図		
路線名	山の根敷地線		
縮尺	S=1:100	図面番号	4 / 6
工事場所	東広島市河内町中河内		
事業者名	東広島市		

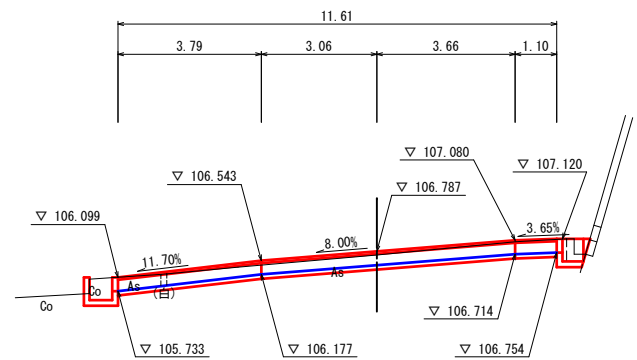
横断溝構造図



横断溝		材料表 (10m当たり)	
名 称	規 格	単 位	数 量
プレキャスト型側溝	FD横断溝同等品	個	5.0
敷モルタル	(1:3)	m ³	0.132
基礎碎石	RC-40 t=10	m ²	5.400
グレーチング	300用 L=1000 T-25	枚	10

横断溝縦断面図
(BN0.0+5.0)

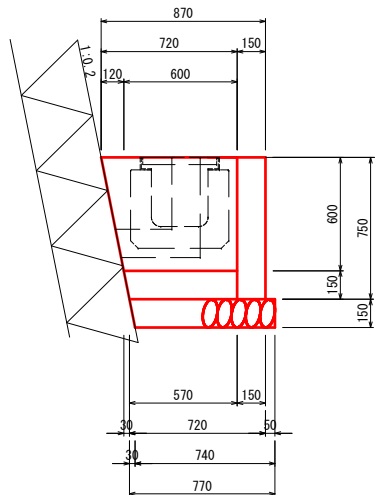
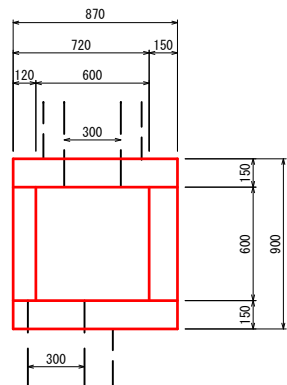
S=1:100



DL=100

1号集水樹
B600-L600-H600

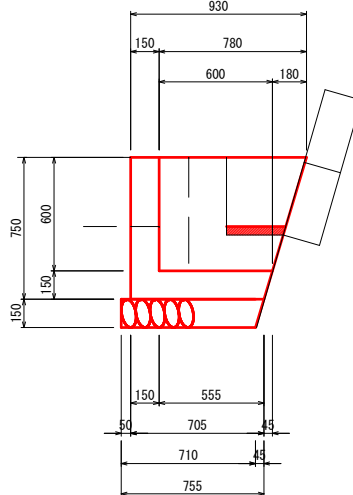
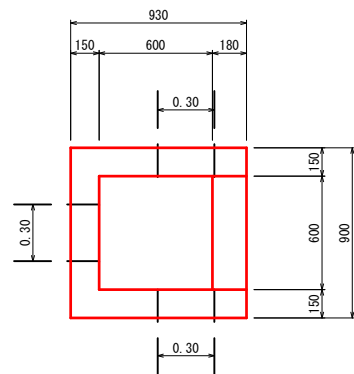
S=1:20



1号集水樹		材料表 (1箇所当たり)	
種 別	規 格	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.247
型 枠	一般型枠	m ²	3.286
基礎碎石	RC-40 t=15	m ³	0.113

2号集水樹
B600-L600-H600

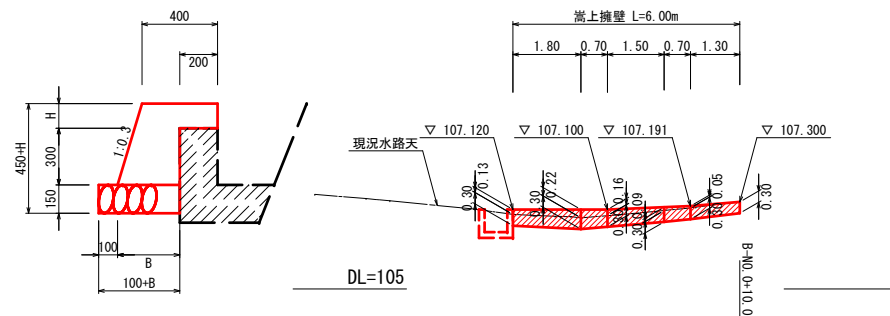
S=1:20



2号集水樹		材料表 (1箇所当たり)	
種 別	規 格	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.252
型 枠	一般型枠	m ²	3.420
基礎碎石	RC-40 t=15	m ³	0.110

嵩上擁壁

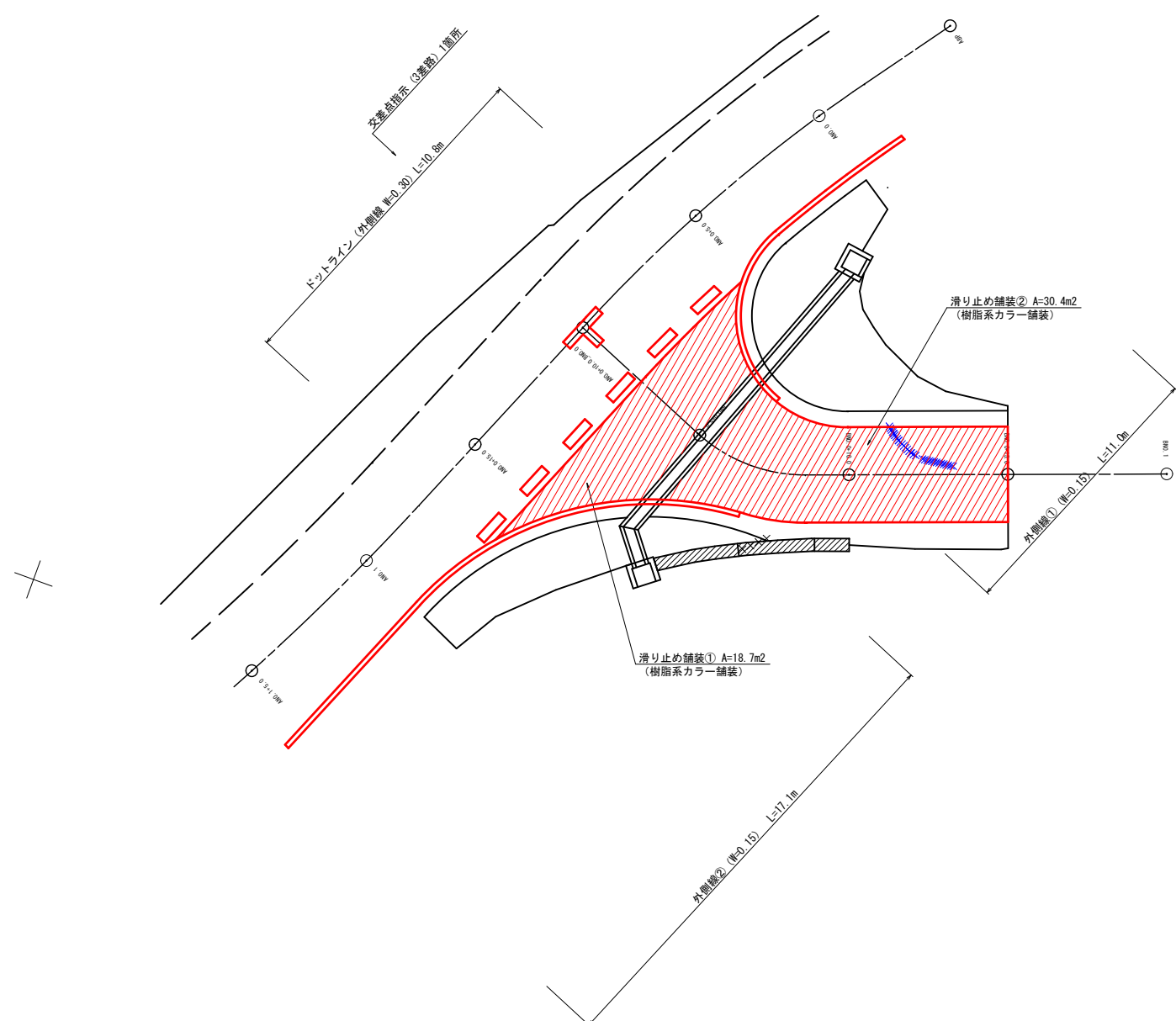
S=1:100



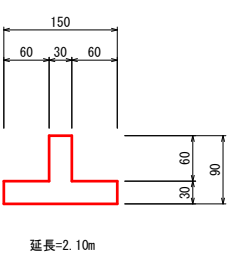
嵩上擁壁材料表								
H	天端幅	勾配	既設天端幅	全高	底幅B	コンクリート	型 枠	基礎碎石
mm	mm		mm	mm	mm	m ²	m	m ²
0	400	0.30	200	300	290	0.074	0.313	0.059
10	400	0.30	200	310	293	0.078	0.324	0.059
20	400	0.30	200	320	296	0.083	0.334	0.059
30	400	0.30	200	330	299	0.088	0.345	0.060
40	400	0.30	200	340	302	0.093	0.355	0.060
50	400	0.30	200	350	305	0.098	0.365	0.061
60	400	0.30	200	360	308	0.103	0.376	0.061
70	400	0.30	200	370	311	0.109	0.386	0.062
80	400	0.30	200	380	314	0.114	0.397	0.062
90	400	0.30	200	390	317	0.119	0.407	0.063
100	400	0.30	200	400	320	0.124	0.418	0.063
110	400	0.30	200	410	323	0.129	0.428	0.063
120	400	0.30	200	420	326	0.134	0.438	0.064
130	400	0.30	200	430	329	0.140	0.449	0.064
140	400	0.30	200	440	332	0.145	0.459	0.065
150	400	0.30	200	450	335	0.150	0.470	0.065
160	400	0.30	200	460	338	0.156	0.480	0.066
170	400	0.30	200	470	341	0.161	0.491	0.066
180	400	0.30	200	480	344	0.167	0.501	0.067
190	400	0.30	200	490	347	0.172	0.512	0.067
200	400	0.30	200	500	350	0.178	0.522	0.068
210	400	0.30	200	510	353	0.183	0.532	0.068
220	400	0.30	200	520	356	0.189	0.543	0.068
230	400	0.30	200	530	359	0.194	0.553	0.069
240	400	0.30	200	540	362	0.200	0.564	0.069
250	400	0.30	200	550	365	0.205	0.574	0.070
260	400	0.30	200	560	368	0.211	0.585	0.070
270	400	0.30	200	570	371	0.217	0.595	0.071
280	400	0.30	200	580	374	0.222	0.606	0.071
290	400	0.30	200	590	377	0.228	0.616	0.072
300	400	0.30	200	600	380	0.234	0.626	0.072

工事名	道路維持修繕事業 山ノ根敷地線ほか道路修繕工事		
図面名	構 造 図		
路線名	山の根敷地線		
縮尺	図 示	図面番号	5 / 6
工事場所	東広島市河内町中河内		
事業者名	東 広 島 市		

交差点路面標示図



交差点指示



工事名	道路維持修繕事業 山ノ根敷地線ほか道路修繕工事		
図面名	交差点路面標示図		
路線名	山の根敷地線		
縮尺	S=1:250	図面番号	6 / 6
工事場所	東広島市河内町中河内		
事業者名	東 広 島 市		

Topographic map showing the location of the Aomori City Planning Office (奥条串ヶ平集会所) and the proposed road layout. The map includes contour lines, building footprints, and a scale bar. A red line indicates the proposed road layout, and a black line indicates the existing road layout. The map also shows the location of the Aomori City Planning Office (奥条串ヶ平集会所) and the proposed road layout.

Figure 1 shows a structural member under a horizontal load P . The member is a vertical column with a height of 1.60. A horizontal load P is applied at the base. The base is supported by a foundation with a width of 0.50. The column has a width of 0.60. The load P is applied at a height of 0.50 from the base. The diagram shows the member, the load, the support, and the dimensions. Below the diagram, the following properties are listed:

- $C(Co1)=0.3$
- $E(SF)=0.8$
- $F_u(D)=0.6$

S=図示

Technical drawing of a square column cross-section. The column has a total width of 600mm and a total height of 516mm. The top 150mm is concrete (コンクリート) with a strength of $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$. The remaining height is 366mm. The column is reinforced with 14 bars (T-14) in a square grid. The bottom 150mm is a base layer (基礎砕石 RC-40). The drawing shows the reinforcement layout with dimensions for bar spacing and cover.

数 量 表			10m当たり
種 別	規 格	単位	数 量
基礎礎石	RC-40、t=150mm	m ²	7.00
型 枠	小型構造物	m ²	20.58
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	1.920
グレーチング蓋	T-14 ボルト式 並目	枚	10

工事名	道路維持修繕事業 木の根敷地線ほか道路修繕工事		
路線名等	奥泉西条線		
図面名	平 面 図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 1
工事箇所	東広島市河内町中河内		
事業者名	東広島市		

参 考 図 書

工事名称 : 令和7年度 道路維持修繕事業
山の根敷地線ほか道路修繕工事

<注意事項>

1 本工事は、数量公開の対象工事です。

2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

3 その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

箇所	種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
A2	建設発生土 (砂質土)	(株)大地リサイクル センター第9処分場	東広島市河内町入野字大内原 987-1	7.0km

・当該工事により発生する建設副産物は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

箇所	種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
A1	As 殻	(株)中博リサイクル プラント	三原市高坂町真良 2852	16.4km
A2	As 殻	(有)トラスト	東広島市西条町上三永 348-14	19.5km

・当該工事により発生する建設副産物は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

箇所	種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
A1	Co 殻（無筋）	(株)中博リサイクル プラント	三原市高坂町真良 2852	16.4km
A2	Co 殻（無筋）	(株)中博リサイクル プラント	三原市高坂町真良 2852	17.5km

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 49 東広島市(河内) 00-08.07.01(0)		凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	04 道路改良工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良 (A1 山の根敷地線)					Y1E01 レベル1
	1	式			
道路土工					Y1E0101 レベル2
	1	式			
掘削工					Y1E010101 レベル3
	1	式			
掘削 土砂 標準以外					Y1E01010101 レベル4
	4	m3			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外					SPK25040001 00
	4	m3			単第0 -0001 表
路床盛土工					Y1E010105 レベル3
	1	式			
路床盛土 流用土					Y1E01010501 レベル4
	6	m3			
路床盛土 施工幅員2.5m未満					SPK25040005 00
	6	m3			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路床盛土 購入土	1	m3			Y4999 レベル4
路床盛土 購入土	1	m3			V0010 00 単第0 -0003 表
擁壁工	1	式			Y1E0106 レベル2
作業土工	1	式			Y1E010601 レベル3
床掘り 土砂	2	m3			Y1E01060102 レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	2	m3			SPK25040015 00 単第0 -0005 表
埋戻し 土砂	2	m3			Y1E01060103 レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	2	m3			SPK25040020 00 単第0 -0006 表
嵩上げコンクリート	1	式			Y3999 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート	1	m3			Y4999 レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	1	m3			SPK25040157 00 単第0 -0007 表
型枠	2	m2			Y4999 レベル4
型枠 一般型枠 小型構造物	2	m2			SPK25040159 00 単第0 -0008 表
基礎砕石	0.3	m2			Y4999 レベル4
基礎砕石 砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40	0.3	m2			SPK25040034 00 単第0 -0009 表
排水構造物工	1	式			Y1E0109 レベル2
作業土工	1	式			Y1E010901 レベル3
床掘り 土砂	5	m3			Y1E01090102 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	5	m3			SPK25040015 00 単第0 -0005 表
埋戻し 土砂	3	m3			Y1E01090103レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	3	m3			SPK25040020 00 単第0 -0006 表
側溝工	1	式			Y1E010903 レベル3
横断溝 B300-H300	12	m			Y4999 レベル4
U型側溝 300×300	12	m			SDT00013 00 単第0 -0010 表
横断溝 300×300×2000	4	本			F0100 00
横断溝 300×300×1500	3	本			F0110 00
横断溝用グレーチング受枠 300用 L=2000 標準	4	組			F0140 00

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
横断溝用グレーチング受枠 300用 L=1500 調整用	3	組			F0150 00
横断溝用グレーチング 300 L=1000 普通目	11	枚			Y4999 レベル4
蓋版 300 L=1000	11	枚			SDT00017 00 単第0 -0011 表
横断溝用グレーチング 300 L=1000 普通目	11	枚			F0120 00
横断溝用グレーチング 300 L=500 普通目	3	枚			Y4999 レベル4
蓋版 300 L=1000	3	枚			SDT00017 00 単第0 -0011 表
横断溝用グレーチング 300用 L=500 普通目	3	枚			F0130 00
集水桧工	1	式			Y1E010905 レベル3
1号集水桧 現場打 B600-L600-H600	1	箇所			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 18-8-40BB 0.24m3を超え0.26m3以下	1	箇所			SPK25040104 00 単第0 -0012 表
2号集水桝 現場打 B600-L600-H600	1	箇所			Y4999 レベル4
現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 18-8-40BB 0.24m3を超え0.26m3以下	1	箇所			SPK25040104 00 単第0 -0012 表
構造物撤去工	1	式			Y1E0112 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206 レベル3
コンクリート構造物取壊し 機械施工	3	m3			Y1E01120601 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	3	m3			SDT00031 00 単第0 -0013 表
舗装版切断 アスファルト舗装版	28	m			Y1E01120602 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	28	m			SPK25040307 00 単第0 -0014 表

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破碎 アスファルト舗装版	111	m2			Y1E01120603レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	111	m2			SPK25040018 00
運搬処理工	1	式			単第0 -0015 表 Y1E011216 レベル3
殻運搬 アス殻	4	m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離17.0km以下(12.0km超)	4	m3			SPK25040155 00
殻運搬 コン殻(無筋)	3	m3			単第0 -0016 表 Y4999 レベル4
殻運搬 吹付法面とりこわし(モルタル) DID区間無し 運搬距離18.0km以下(13.5km超)	3	m3			SPK25040155 00
殻処分 アス塊	10	t			単第0 -0017 表 Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
再資源化施設受入費 アス塊 (株)中博リサイクルプラント	10	t			F0020 00
殻処分 コン塊(無筋)	8	t			Y4999 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 コン塊(無筋) (株)中博リサイクルプラント	8	t			F0030 00
舗装工	1	式			Y2999 レベル2
アスファルト舗装工	1	式			Y3999 レベル3
表層 再生密粒度アスファルト t=4cm	110	m2			Y4999 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚40mm	110	m2			SPK25040244 00
路盤 再生粒度調整碎石 t=10cm	110	m2			単第0 -0018 表 Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	110	m2			SPK25040237 00 単第0 -0019 表
薄層カラー舗装	1	式			Y3999 レベル3
薄層カラー舗装 RPN-301 カラートップ	49	m2			Y4999 レベル4
樹脂系すべり止め舗装工 RPN-301 [規]100m2未満	49	m2			SS000219 00 単第0 -0020 表
区画線工	1	式			Y2999 レベル2
区画線工	1	式			Y3999 レベル3
区画線設置(熔融式) 外側線 15cm	28	m			Y4999 レベル4
区画線設置(熔融式) 実線_15cm	28	m			SDT00001 00 単第0 -0021 表
区画線設置(熔融式) 破線 30cm	11	m			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置(溶融式) 破線_30cm	11	m			SDT00001 00 単第0 -0022 表
交差点指示	1	式			Y3999 レベル3
区画線設置(溶融式) T字 30cm	2	m			Y4999 レベル4
区画線設置(溶融式) 実線_30cm	2	m			SDT00001 00 単第0 -0023 表
仮設工	1	式			Y1E0115 レベル2
交通管理工	1	式			Y1E011521 レベル3
交通誘導警備員	18	人			Y1E01152101 レベル4
交通誘導警備員B	18	人			R0369 00
道路改良(A2 奥条西条線)	1	式			Y1E01 レベル1

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
道路土工	1	式			Y1E0101 レベル2
残土処理工	1	式			Y1E010110 レベル3
土砂等運搬 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	1	m3			Y1E01011002 レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)	1	m3			SPK25040002 00 単第0 -0024 表
残土等処分	1	m3			Y1E01011003 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設発生土受入費 砂・砂質土・礫質土 (株)大地リサイクルセンター第9処分場	1	m3			F000000100 00
排水構造物工	1	式			Y1E0109 レベル2
作業土工	1	式			Y1E010901 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
床掘り 礫質土	4	m3			Y1E01090102レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	4	m3			SPK25040015 00 単第0 -0005 表
埋戻し 礫質土	3	m3			Y1E01090103レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	3	m3			SPK25040020 00 単第0 -0006 表
側溝工	1	式			Y1E010903 レベル3
水路工 現場打 B300-H300	4.5	m			Y4999 レベル4
水路工 現場打 B300-H300	4.5	m			V000000100 00 単第0 -0025 表
側溝蓋 グレーチング蓋 (300用)	5	枚			Y1E01090305レベル4
蓋設置 グレーチング蓋 (300用) ボルト固定 T-14	5	枚			V000000200 00 L=1000 単第0 -0027 表

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物撤去工	1	式			Y1E0112 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206 レベル3
コンクリート構造物取壊し コンクリート（無筋）	1	m3			Y1E01120601 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	1	m3			SDT00031 00 単第0 -0013 表
舗装版切断 アスファルト舗装版	9	m			Y1E01120602 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	9	m			SPK25040307 00 単第0 -0014 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版	25	m2			Y1E01120603 レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	25	m2			SPK25040018 00 単第0 -0015 表
運搬処理工	1	式			Y1E011216 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0015

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 コン殻（無筋）	1	m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 吹付法面とりこわし(モルタル) DID区間無し 運搬距離18.0km以下(13.5km超)	1	m3			SPK25040155 00 単第0 -0017 表
殻運搬 アス殻	1	m3			Y4999 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離28.5km以下(17.0km超)	1	m3			SPK25040155 00 単第0 -0029 表
殻処分 コン塊（無筋）	3	t			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 コン塊（無筋） （株）中博リサイクルプラント	3	t			F000000200 00
殻処分 アス塊	3	t			Y4999 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0016

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
再資源化施設受入費 アス塊 (有)トラスト	3	t			F000000300 00
舗装工	1	式			Y2999 レベル2
舗装工	1	式			Y3999 レベル3
上層路盤工 再生粒度調整碎石RM-30 t = 10cm	5	m2			Y4999 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	5	m2			SPK25040237 00 単第0 -0019 表
表層工 再生密粒度アスコン13 t = 4cm	25	m2			Y4999 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚40mm	25	m2			SPK25040244 00 単第0 -0018 表
仮設工	1	式			Y1E0115 レベル2
交通管理工	1	式			Y1E011521 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0017

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員					Y1E01152101レベル4
	6	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	6	人			
* * 直接工事費 * * #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0018

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * * 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 20.13%
SPK25040001
標準以外
労務構成比: 71.97%
材料構成比: 7.90%
市場単価構成比: 0.00%
単第0 -0001 表
1
標準単価: 2,678.70000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 E=8 土砂 標準以外			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0020

路床盛土
施工幅員2.5m未満
機械構成比:

SPK25040005

単第0 -0002 表

1
標準単価: m3 当り
6,824.80000

0.76% 労務構成比: 98.98% 材料構成比: 0.26% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t	0.76%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t		KTPC00008 KTPT00008
普通作業員	89.34%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.64%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.26%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m未満					

施工単価表

頁0 -0021

路床盛土
購入土

V0010

單第0 -0003 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 26.52% 労務構成比: 61.90% 材料構成比: 11.58% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間無し 距離19.0km以下(13.0km超)

単第0 -0004 表
1
標準単価: 4,194.30000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=52 距離19.0km以下(13.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 18.73% 労務構成比: 74.16% 材料構成比: 7.11% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0005 表

1
標準単価: m3 当り
2,247.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し
土砂

SPK25040020
上記以外(小規模)

単第0 -0006 表

1
標準単価:

m3 当り
4,063.80000

機械構成比: 8.87%

労務構成比: 87.15%

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.27%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.60%		タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	50.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0025

埋戻し

土砂

機械構成比: 8.87%

勞務構成比： 87.15%

上記以外(小規模)

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

單第0 -0006 表

1
標準単価：

m3 当り
4,063.80000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0007 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 28.68% 材料構成比: 71.32% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 30,615.00000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
普通作業員		12.85%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員		7.30%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役		6.58%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)		71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%			TTPCD0010 TTPT00343
積算単価				積算単価			E9999
A=1	無筋・鉄筋構造物			B=3	人力打設		
C=2	18-8-40BB			F=2	一般養生		
H=2	現場内小運搬無し			J=2	小型車割増有		
K=1	-(全ての費用)						

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0008 表

1
標準単価:

m2 当り
9,147.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0 -0028

基礎碎石

SPK25040034

単第0 -0009 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.04% 労務構成比:

74.10%

材料構成比: 20.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,335.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.01%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	35.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.95%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	16.17%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0029

基礎碎石

SPK25040034

单第0 -0009 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

機械構成比: 5.04% 勞務構成比: 74.10%

材料構成比: 20.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：1

m2 当り
1,335.60000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

U型側溝
300 × 300

SDT00013

單第0 -0010 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

蓋版
300

SDT00017

單第0 -0011 表

枚 当り

L=1000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0032

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)

SPK25040104

単第0 -0012 表

18-8-40BB

0.24m3を超え0.26m3以下

1

箇所 当り

機械構成比: 0.08%

労務構成比: 88.42%

材料構成比: 11.50%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

46,977.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	0.08%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
型わく工	35.04%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	29.34%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.33%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	1.76%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	11.14%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD00010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0033

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)

SPK25040104

單第0 -0012 表

18-8-40BB

0.24m³を超え0.26m³以下

1

箇所 当り

機械構成比: 0.08%

勞務構成比: 88.42%

材料構成比: 11.50%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

46,977.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0013 表

m3 当り

機械施工

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0014 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

700.44000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0036

鋪裝版切断

SPK25040307

單第0 -0014 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

勞務構成比：

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

700.44000

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK25040018

単第0 -0015 表

1
標準単価：m2 当り
1,747.00000

機械構成比： 20.13% 労務構成比： 71.97% 材料構成比： 7.90% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0038

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 20.25% 労務構成比: 71.03% 材料構成比: 8.72% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離17.0km以下(12.0km超)

単第0 -0016 表
1
標準単価: m3 当り 9,934.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=53 運搬距離17.0km以下(12.0km超)		

施工単価表

殻運搬
吹付法面とりこわし(モルタル)
機械構成比: 20.72% 労務構成比: 65.82% 材料構成比: 13.46% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離18.0km以下(13.5km超)

単第0 -0017 表
1
標準単価: 3,981.00000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ダンプトラック 積載質量4t	20.72%		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t積級		KTPC00055 KTPT00055
運転手(一般)	65.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.46%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=4 吹付法面とりこわし(モルタル) C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=55 運搬距離18.0km以下(13.5km超)		

施工単価表

頁0 -0040

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0018 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚40mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.38%

労務構成比: 10.17%

材料構成比: 88.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,808.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.88%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0041

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0018 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚40mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.38%

労務構成比: 10.17%

材料構成比: 88.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,808.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	80.70%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.17%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=7 G=2 I=1	平均幅員3.0m超 再生密粒度アスファルト混合物(13) 小型車割増有 -(全ての費用)		B=40 E=2 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -	
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):40.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0042

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0019 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57% 労務構成比: 37.08% 材料構成比: 51.35% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.99%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.00%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.99%		<賃>タイヤローラ 質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	5.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0043

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0019 表

RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工 1 m2 当り
機械構成比: 11.57% 労務構成比: 37.08% 材料構成比: 51.35% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30～0mm	47.84%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 RM-30 H=1 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0044

樹脂系すべり止め舗装工

SS000219

單第0 -0020 表

RPN-301

[規] 100m²未満

m2 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0045

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0021 表

名称・規格など		数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし		1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白		598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm		26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用		26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油		42.000	L			
諸雑費		1	式			
*** 合計 ***		1,000	m			
*** 単位当たり ***		1	m			
A=1 C=1 E=1	昼間施工 実線_15cm アスファルトに設置の場合			B=1 D=1 F=1	白色 塗布厚t=1.5mm 時間的制約なし	
G=1 I=1	- -			H=1 J=1	- -(全ての費用)	

施工単価表

頁0 -0046

区画線設置(熔融式)

SDT00001

單第0 -0021 表

実線 15cm

m

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0047

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0022 表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 破線_30cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	1,186.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	52.500	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	52.500	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	76.650	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=7 破線_30cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0048

区画線設置(熔融式)

SDT00001

單第0 -0022 表

破線 30cm

m

当日

[illegible]

施工単価表

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0023 表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_30cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	1,186.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	52.500	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	52.500	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	68.250	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=3 実線_30cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0050

区画線設置(熔融式)

SDT00001

單第0 -0023 表

実線 30cm

m

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0051

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 26.52% 労務構成比: 61.90% 材料構成比: 11.58% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)

単第0 -0024 表
1
標準単価: 2,287.80000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=33 距離7.5km以下(6.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0052

水路工
現場打

V000000100
B300-H300

單第0 -0025 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0053

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0026 表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 41.15%

材料構成比: 58.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

36,756.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.69%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.85%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

頁0 -0054

蓋設置

V000000200

單第0 -0027 表

グレーチング蓋（300用）

ボルト固定 T-14

L=1000

1 枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0055

蓋版
材料別途 40 重量

SDT00017

單第0 -0028 表

1枚当り

[illegible]

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 20.25% 労務構成比: 71.03% 材料構成比: 8.72% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離28.5km以下(17.0km超)

単第0 -0029 表

1
標準単価: 12,958.00000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=65 運搬距離28.5km以下(17.0km超)		

数量計算内訳書

山の根敷地線

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	計上数量	数 量	摘 要
道路改良								
	道路土工							
		掘削工			式	1		
			掘削	礫質土	m3	4	4.4	C1
		路床盛土工			式	1		
			路床盛土	流用土	m3	6	6.0	B1
			路床盛土	購入土	m3	1	1.4	B1
	擁壁工							
		作業土工			式	1		
			床掘	礫質土	m3	2	2.1	
			埋戻	種別(D)	m3	2	1.6	
			基面整正	礫質土	m2	3	2.7	
		嵩上げ コンクリート			式	1		
			コンクリート	無筋構造物 $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m3	1	0.8	
			一般型枠	小型構造物	m2	2	2.3	
			基礎砕石	RC-40	m2	0.3	0.3	
	排水構造物工							
		作業土工			式	1		
			床掘	砂質土	m3	5	5.3	
			埋戻	種別(D)	m3	3	3.0	
			基面整正	砂質土	m2	6	5.9	
		側 溝 工			式	1		
			横断溝据付	B300-H300	m	12	11.6	
			U型側溝	B300-H300 L=2000	本	4	4.0	
			〃	B300-H300 L=1500	本	3	3.0	
			グレーチング受枠	B300-H300 L=2000	組	4	4.0	
			〃	B300-H300 L=1500	組	3	3.0	
			グレーチング	300用 L=1000	枚	11	11.0	

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	計上数量	数 量	摘 要
			//	300用 L=500	枚	3	3.0	
		集水桝工			式	1		
			1号集水桝	現場打 B600-L600-H600	箇所	1	1.0	
			2号集水桝	現場打 B600-L600-H600	箇所	1	1.0	
	構造物撤去工							
		構造物取壊し工			式	1		
			コンクリート 構造物取壊し	無筋コンクリート	m3	3	3.3	
			舗装版切断	アスファルト舗装 t=5cm以下	m	28	27.6	
			舗装版取壊し	アスファルト舗装 t=5cm以下	m2	111	110.5	
		運搬処理			式	1		
			殻運搬	アスファルト	m3	4	4.4	110.5×0.04
				無筋コンクリート	t	8	7.8	3.3×2.35
	舗装工							
		アスファルト舗装工			式	1		
			表 層	密粒度アスファルト 混合物 t=4cm	m2	110	109.9	
			路 盤	再生粒度調整 碎石 t=10cm	m2	110	109.9	
		薄層カラー 舗装工			式	1		
			薄層カラー舗装	RPN-301 カラートップ	m2	49	49.1	
	区画線工							
		区画線工			式	1		
			区画線	外側線 W=15cm	m	28	28.1	
			区画線	ドットライン W=30cm	m	11	10.8	
		交差点指示	T字	溶融式 実線, W=30cm	m	2	2.1	
	仮設工							
		交通管理工						
			交通誘導警備員		人	16	16	

土 量 配 分 表

発生土（地山）

工種	土質	記 号	土 量
切 土	礫質土	C1 (GF)	4.4
		計	4.4

補 足 土 (購入土)	1.5
----------------	-----

作業土工

	土質	工 種	土 量
嵩上擁壁			
床掘	礫質土	E (GF)	2.1
排水構造物工			
床掘	礫質土	E (GF)	5.3

盛 土（流用土）

工種	規 格	記 号	土 量
路 床 盛 土	W=2.5m未満	B1-1	
	2.5m≦W<4.0m	B1-2	7.4
	W=4.0m以上	B1-3	
路 体 盛 土	W=2.5m未満	B2-1	
	2.5m≦W<4.0m	B2-2	
	W=4.0m以上	B2-3	
			6.0
合計			7.4

捨 土

工 種	土 量
砂質土	-
計	-

運 搬	変化率による換算		盛土の立積
	4.4	× 0.90	4.0
	2.3	× 0.90	2.1
			6.0
購入土	1.5	× 0.90	1.4
	合計		7.4

作業土工

	土質	工 種	土 量
嵩上擁壁			
埋戻	W<1.0m	Fu	1.6
排水構造物工			
埋戻	W<1.0m	Fu	3.0

計第 1 - 1 表					掘 削 工			計 算 書			A路線		
測 点	距 離	片切掘削 C1(GF)											
		断 面	平 均	立 積	断 面	平 均	立 積	断 面	平 均	立 積			
		0.0	--	--									
NO.0+5.0	2.2	0.3	0.15	0.3									
NO.0+10.0	4.4	0.3	0.30	1.3									
NO.0+15.0	5.0	0.3	0.30	1.5									
NO.1	5.0	0.2	0.25	1.3									

計第 2 - 1 表			路体盛土			計 算 書			A路線		
測 点	距 離	路床盛土 B2-2									
		断 面	平 均	立 積	断 面	平 均	立 積	断 面	平 均	立 積	
		0.0	--	--							
NO.0+5.0	2.2	1.4	0.70	1.5							
NO.0+10.0	4.4	0.6	1.00	4.4							
NO.0+15.0	5.0	0.0	0.30	1.5							

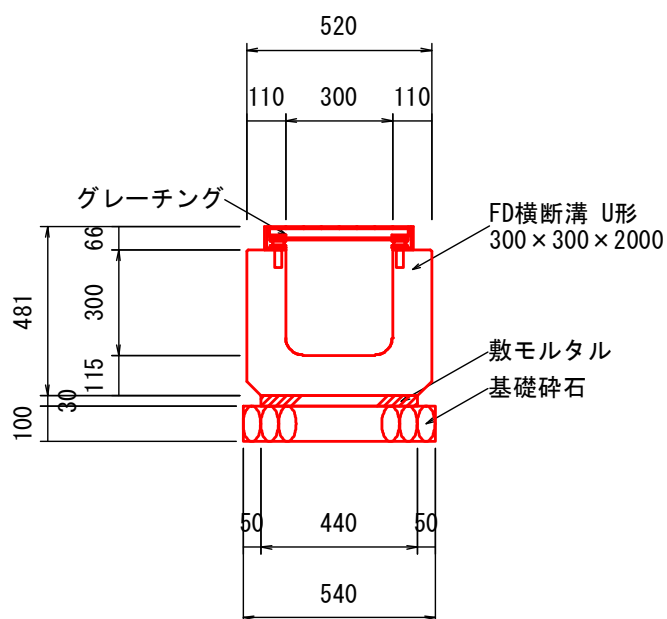
[illegible]

計第 4 - 1 表			嵩上コンクリート			計 算 書			(B路線)		
測 点	距 離	H	コンクリートブロック			型 枠			基礎砕石		
			断 面	平 均	立 積	長 さ	平 均	平 積	断 面	平 均	立 積
路線B											
NO.0+1.0付近		0.13	0.140	— —	— —	0.450	— —	— —	0.06	— —	— —
	1.8	0.22	0.189	0.165	0.30	0.540	0.495	0.89	0.07	0.07	0.1
	0.7	0.16	0.156	0.173	0.12	0.200	0.370	0.26	0.07	0.07	0.0
	1.5	0.09	0.119	0.138	0.21	0.407	0.304	0.46	0.06	0.07	0.1
	0.7	0.05	0.098	0.109	0.08	0.365	0.386	0.27	0.06	0.06	0.0
NO.0+10.0	1.3	0.00	0.074	0.086	0.11	0.313	0.339	0.44	0.06	0.06	0.1
合 計	6.0				m3 0.82			m2 2.3			m3 0.3

[illegible]

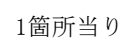
[illegible]

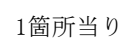
計第 7 - 1 表					
集水枳工延長調書					
左側			右側		
測点	箇所	備考	測点	箇所	備考
A路線 NO.0+2.0 ～ 付近	1.0	1号集水枳			
A路線 NO.0+15.0 ～ 付近	1.0	2号集水枳			
合 計	2.0 m		合 計	0.0 m	
			左右合計	2.0 m	

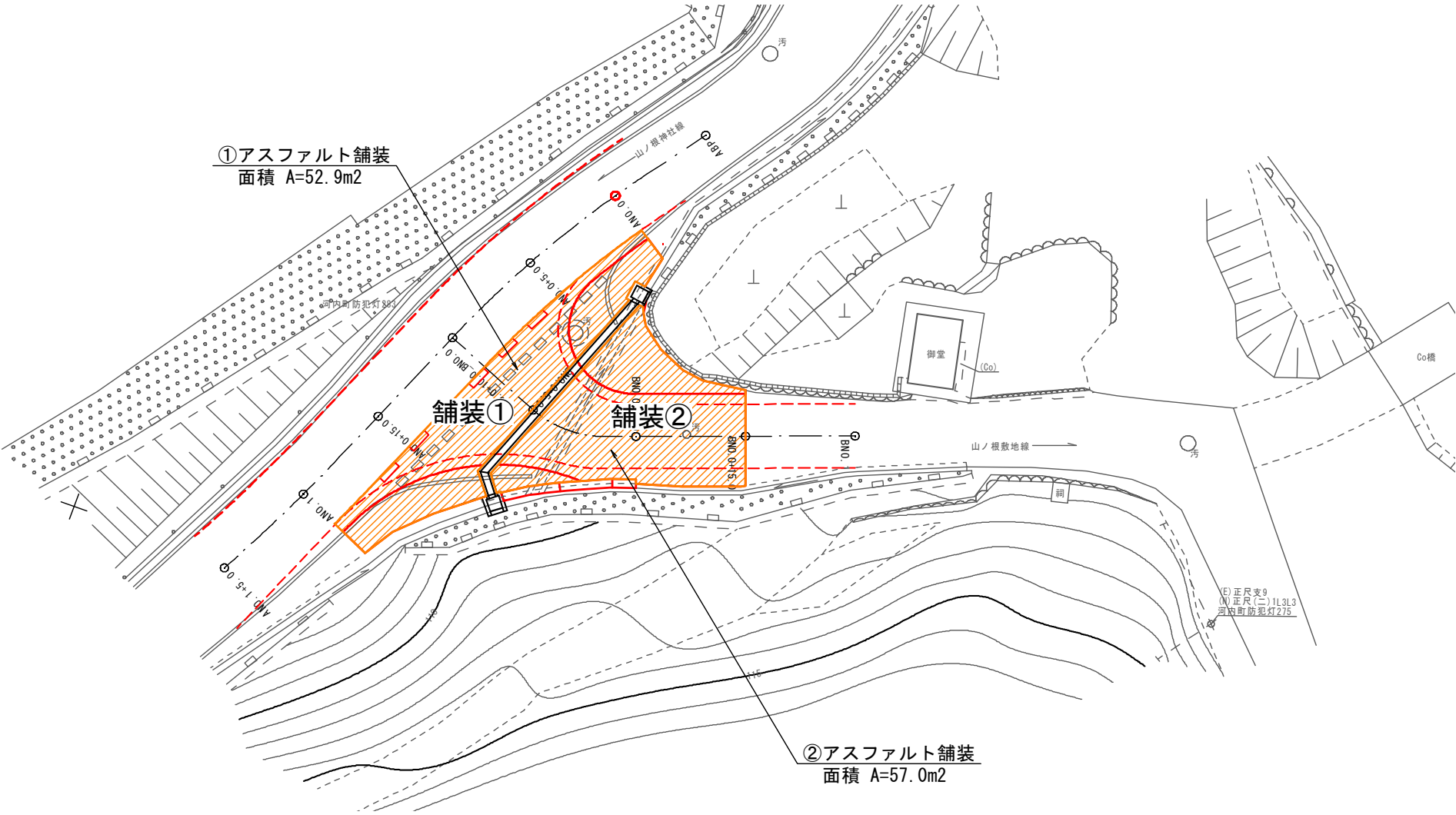


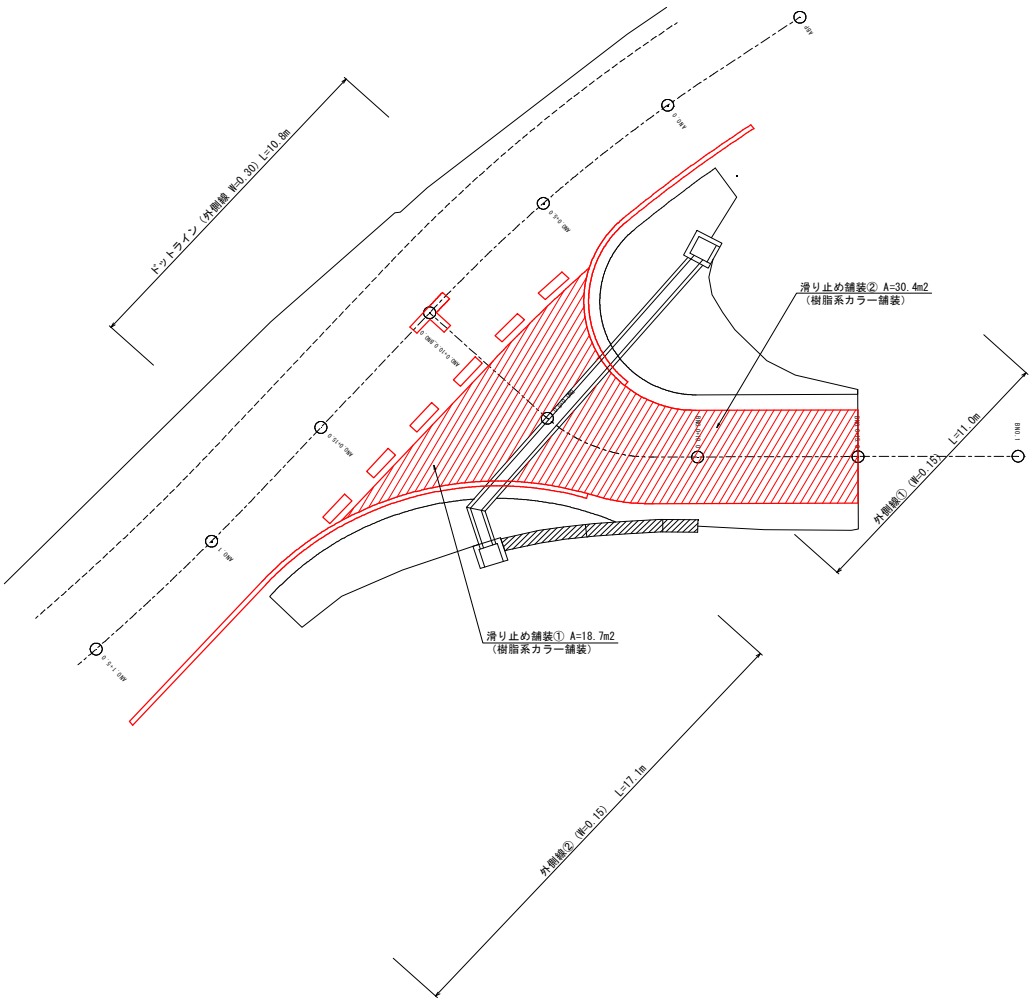
10m当たり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

種 別	細 別	計 算 式	数 量	摘 要
 ①アスファルト舗装 面積 A=52.9m² 舗装① 舗装② ②アスファルト舗装 面積 A=57.0m² 山ノ根神社線 山ノ根敷地線 御堂 (Co) Co橋 河内町防犯灯383 河内町防犯灯279 (E) 正尺支9 (N) 正尺(二) 1L3L3				

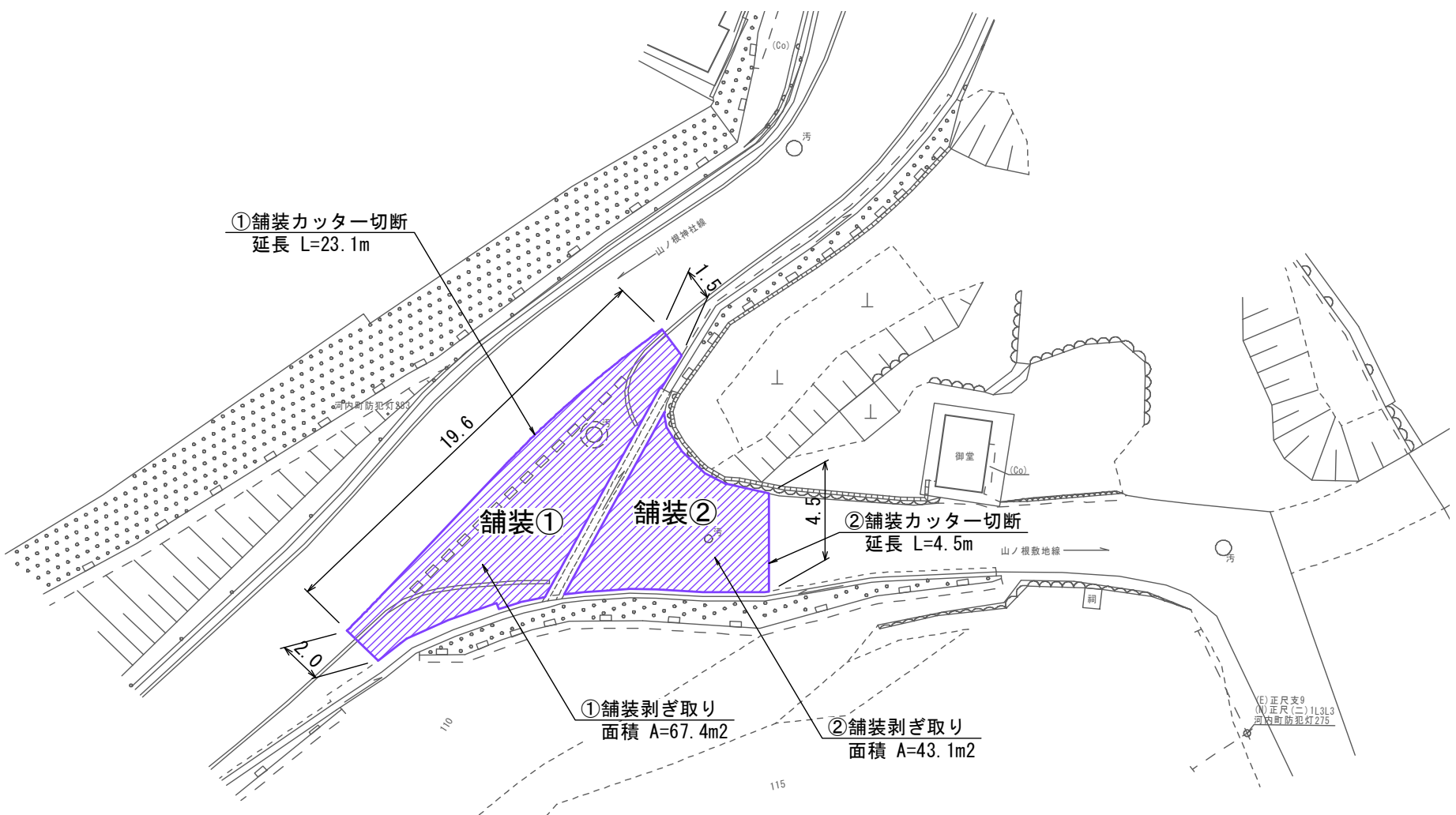
種 別	細 別	計 算 式	数 量	摘 要
				

計第 9 - 1 表

区画線工 計 算 書

測 点	距 離	外側線 (W=0.15)			ドットライン (W=0.30)			交差点指示		
				延 長			延 長			延 長
(参考図参照)										
路線A		外側線①		11.0						
		外側線②		17.1						
NO.0+5.0付近～ NO.0+17.0付近							10.8			
NO.0+10.0										2.1
合 計				m 28.1			m 10.8			m 2.1

種 別	細 別	計 算 式	数 量	摘 要
The diagram illustrates a road intersection with various lane markings and dimensions. Key features include: Intersection Point: Indicated by a circle with a cross. Dimensions: - Dot line (外側線 幅0.20) L=10.8m - Outer line (外側線② 幅0.15) L=11.0m - Outer line (外側線③ 幅0.15) L=17.1m Slip-resistant Pavement Areas: - Slip-resistant pavement ① (樹脂系カラー舗装) A=18.7m² - Slip-resistant pavement ② (樹脂系カラー舗装) A=30.4m² Intersection Point Indicator (交差点指示): The indicator shows a T-junction with a width of 150 and a depth of 90. The width is divided into three sections: 60, 30, and 60. The depth is divided into two sections: 60 and 30. The extension length is 2.10m.				

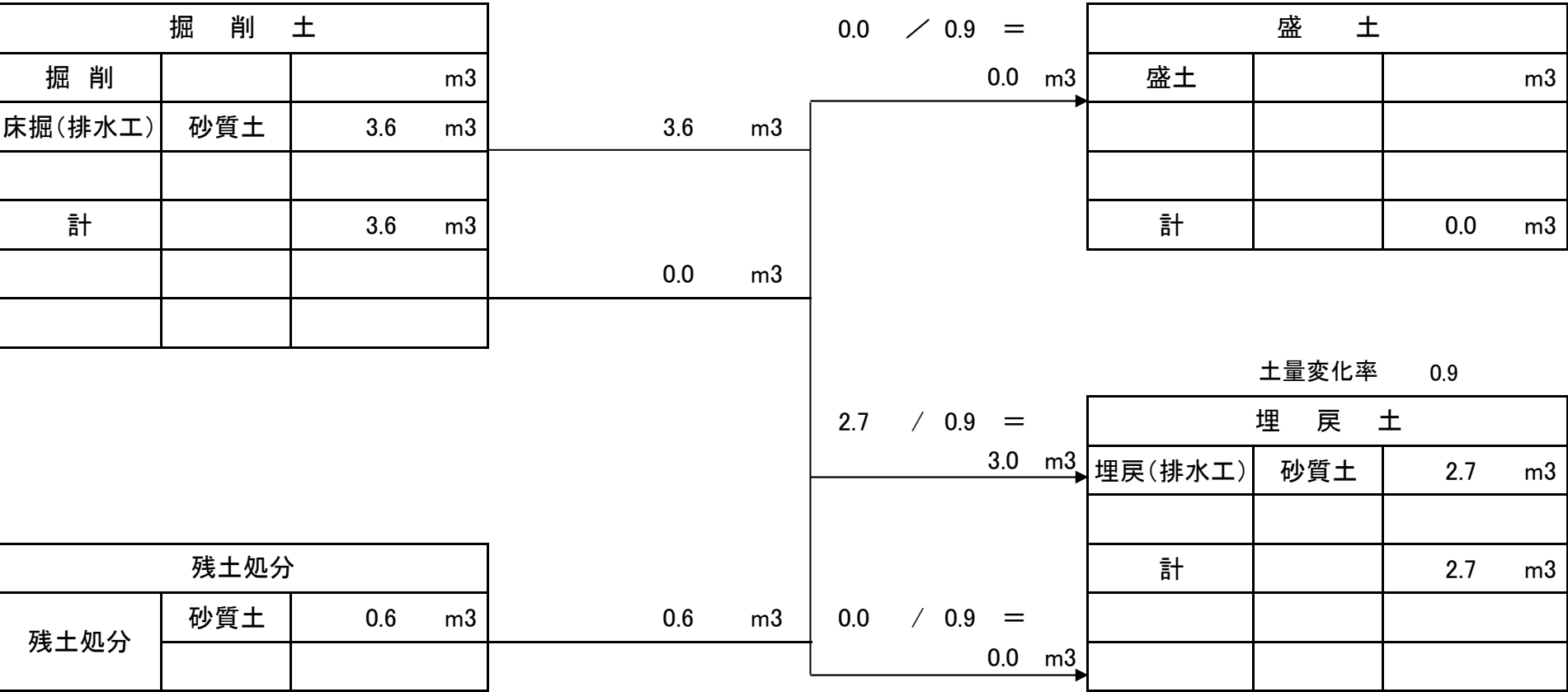
種 別	細 別	計 算 式	数 量	摘 要
 ①舗装カッター切断 延長 L=23.1m ②舗装カッター切断 延長 L=4.5m ①舗装剥ぎ取り 面積 A=67.4m² ②舗装剥ぎ取り 面積 A=43.1m² 山ノ根神社線 山ノ根敷地線 御堂 河内町防犯灯883 河内町防犯灯275 (E) 正尺支9 (N) 正尺(二) 1L3L3 110 115 20 19.6 4.5				

奥条西条線

[illegible]

奥条西条線

土量配分表



奥条西条線

作業土工(排水工)

計 算 書

()

測 点	距 離	床掘E			埋戻しFu									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT0.0		0.8			0.6									
SECT4.5	4.5	0.8	0.80	3.6	0.6	0.60	2.7							
合 計	4.5			3.6			2.7			0.0				

奥条西条線

現場打ち水路

()

種 別	細 別	計 算 式	数 量	摘 要
現場打ち水路	B300		4.5 m	
合 計			4.5 m	

奥条西条線

グレーチング設置

()

種 別	細 別	計 算 式	数 量	摘 要
グレーチング設置	ボルト固定T-14		5.0 枚	
合 計			5.0 枚	

奥条西条線

舗装工

計 算 書

()

測 点	距 離	上層路盤			表層									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT0.0		1.0			5.5									
SECT4.5	4.5	1.0	1.00	4.5	5.5	5.50	24.8							
合 計	4.5			4.5			24.8							

奥条西条線

舗装版剥ぎ取り

計 算 書

()

測 点	距 離	アスファルト舗装版			アスファルト塊			アスファルト舗装版切断						摘 要
		断 面	平 均	数 量	厚	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT0.0		5.5			0.05					4.5				
SECT4.5	4.5	5.5	5.50	24.8	0.05	0.05	1.2			4.5				
合 計	4.5			24.8			1.2			9.0				

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]